

心 動 不 動

令和 6 年 9 月
第 7 6 号
発行 普 照 院



お盆参りが終わった8月下旬、大分県別府市にある「一遍湯かけ上人の像」を参拝して来ました（左写真）。このお像がある別府鉄輪（かななわ）温泉は、鎌倉時代（1276年）一遍上人が念仏行脚（遊行）でこの地にやって来られた際に、「上人が鉄輪の地獄を鎮め、温泉療養の場として開いた」とされています。今でもそのことを感謝し、毎年秋の彼岸に「湯あみ祭り」が行われています。

ちなみに別府は神戸と地形が似ていて、海のそばにすぐ山があり、車でちょっと移動するだけで街の絶景を拝することができます。ですからこの鉄輪に来る途中、温泉街全体の眺望を見ることができたのですが、私の生まれ育った有馬温泉ではあまり見ないたくさん煙突から立ち上る温泉の湯気がいかにも温泉地という雰囲気（ふんいき）を漂わせていたことに、大変驚きました。そして鎌倉時代に、温泉地ではない普通の自然の中でこんなに蒸気があちこちからたくさん吹き出している風景を見た一遍上人は、もっと驚かれたのだろうなと思います。今では別府観光の目玉が『地獄めぐり』となっていますが、まさに当時は本物の地獄の地獄（さま）だったのでしょね。

さて、この別府研修にはもう一つの大きな目的がありました。それは大法輪寺というお寺に参拝することです。私がお寺に興味を持ったのは、『無宗派』を表明されているからです。私は、当寺院の宗派である「時宗（じしゅう）」が大好きです。一遍上人も大好きです。ただその宗派というものにとらわれすぎると、宗教活動という意味では様々な矛盾や葛藤（かつとう）が生まれて来ます。その宗派というものをこのお寺では、どういう形でとらえ、解釈（かいしゃく）し、実践（じっせん）されているのかなあ、ということ（こと）を少しでも感じ取れたらといった思いで立ち寄ってきました。ただ当初の予定では中を少しだけ拝見、のつもりだったのですが、色んなご縁があって結局そこのご住職様のお話を、直接聞かせてもらえることになりました。

ここで少し話は変わりますが、昨今の日本仏教寺院の世界は変革を求められている時代です。あと数十年もすると、現在7万ヶ寺ほどあると言われていたお寺のうち、3分の1ほどは消滅すると言われていています。当寺院を含めて、生き残っていくためには変わるべき所は変わらないといけません。その住職さんはそれを数十年前に気づき、そして実践されて来られたそうです。もちろん未来に向かって、何が正解かは分かりません。当寺院もあと3年くらいで、私が住職に着任してから予定していた事業をほぼ完遂します。おかげ様で檀家数も当初の予定より格段（かくだん）に増え、お寺も見違えるほど復興（ふっこう）しました。今回のこの大法輪寺の住職さんからの本当に貴重なアドバイス（もと）を基に、普照院が未来永劫（みらいえいごう）存続し続けることができるよう、さらに精進（しょうじん）しようと思いました。



(右写真：大法輪寺住職と、私の息子)



ところで、令和4年からの2年間、通常形式のお墓への入壇がありませんでした。つまり普通の形のお墓が全く売れなかったということです。そして本堂での葬儀が、全体の80%を占めるようになりました。先ほども書きましたが、当寺院から見ても日本仏教が大きく変化していることを常々感じさせられます。

そんなこともあり、今回あらためて当寺院の本堂葬儀に関するチラシを同封させていただきました。各所にチェーン展開しているような葬儀会社を利用した際の金銭的不安に比べると、当寺院の本堂で執り行う葬儀は格段に安心です。また身内の葬儀が続き経済的負担が大変だから、葬儀会館を利用しそこの僧侶を呼んだ（結局、その方が高額になります）という事例もありました。皆さんのための普照院（菩提寺）です。僧侶へのお布施を含め、ぜひ何でも気軽にご相談していただければと思います。



当寺院の本堂での葬儀は、この不動心が届く檀信徒様からのご紹介であれば、どなた様でもご利用していただくことができます。
* 本堂の使用料は、無料です。詳細はご遠慮なくお問合せ下さい。

〔編集後記〕本年のお盆前に、当寺院墓地の一部参道で舗装化工事を行いました。今後も皆様が気持ち良くお参りできるよう各所整備していきますので、宜しく願います。さてパリ・オリンピックが無事終わりましたが、その大会でインターネット（SNS）での選手に対する誹謗中傷が世界的な問題となりました。このSNSというものは匿名だからこそ「他人のことを思いやることができない」、「自己の主張のみを押し通す」行為を助長してしまいます。特に日本でも昔と比べてこのような他人を思いやる心が触まれて来ていることは実感しますし、その原因は宗教観の無くなった社会形成が進んでいるからだろうと私は考えています。お寺参りやお墓参りは、その宗教観を育み再生する第一歩です。それは幼少期から始めることが大切ですから、是非この秋彼岸からでも家族・親族揃ってお参りして下さい。合掌

発行；[時宗 慈光山 普照院] 責任者 小田義宗

☎652-0853 神戸市兵庫区今出在家町4-1-29

電話 078-671-1787 ファックス 078-330-1187

ホームページ <http://fusyojin.com/>



普照院

検索



これからは、お寺もどんどん情報を発信します。

とくに次世代をにやう、若い方々・お子様たちに教えてあげて下さい。